

令和4年8月  
(2022年)  
第82号

IMARI SHIGIKAI NEWS



# 伊|万|里 市議会だより



伊万里梨の初選果(大川町)

## いまりで、決まり!

市議会のホームページは「伊万里市議会」  
で検索、または右のQRコードからご覧  
ください。



令和4年第3回定例会は、9月2日(金)開会予定です。

上程された議案は、すべて可決及び同意、承認しました。

令和4年度一般会計予算	
5月補正額	1億733万8,000円
〔 ① 〕	480万0,000円
〔 ② 〕	1億253万8,000円
予算総額	278億733万8,000円

- ① 高校生までの子どもがいる世帯等を支援するための臨時特別給付金について、離婚によりひとり親となった世帯であって給付金を受給していない世帯等に対する給付金の支給に要する経費の補正。
- ② 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業において、新たにひとり親世帯等に対する給付金の支給に要する経費の補正。



★ 4月17日の市長選挙において深浦弘信市長が再任され、市議会議員補欠選挙では香月孝夫議員、松尾真介議員が新たに議会に加わりました。これに伴い、市長の就任挨拶、議席の変更が行われました。

★ 特別職の退職手当の特例に関する条例制定について、市長の現任期中に選任又は任命された副市長、教育長及び選任された監査委員に退職手当を支給しないという条例を制定するものです。総務委員会での審査では、「対象を市長のみとすべき」との意見もありましたが、最終的に本会議で全会一致可決となりました。

★ 泉秀樹副市長の任期が令和4年5月21日で満了するため、新たに桑本成司氏（前健康福祉部長）が選任されました。泉副市長には散弾銃射撃場の鉛除去へのアドバイスなど大変お世話になり、ありがとうございました。

★ 同日で任期が満了する常勤監査委員は、井関勝志氏の再任に同意しました。

上程された議案のうち、一般会計補正予算の内容の一部を修正し、それ以外はすべて可決しました。

令和4年度一般会計予算

6月補正額	17億1,621万6,000円
予算総額	295億2,355万4,000円

【地域で活躍する元気な高齢者を表彰する事業  
11万3,000円】を削除

○削除に賛成の討論：盛議員

- ・高齢者を敬う気持ちは変わらないが、対象者の条件に「介護保険の要支援・要介護の認定を受けていない者」「直近1年間に3月以上の入院をしていない者」とあり、人選に当たって個人のプライバシーに触れる部分が大きな問題である。

○賛成11人

盛・川田・山口(常)・力武・前田(敏)・松尾(真)・香月・山口(恭)・松尾(雅)・樋渡・笠原

●削除に反対の討論：中山議員

- ・高齢者を表彰するのはとても良いことであり、反対する理由が分からない。これまで表彰に縁遠かった人などは大変喜ばれると思う。
- ・運用面において課題があるので、適切に事業が行われるよう意見を付ける附帯決議案を提出する。

●反対9人

加藤・西田・中山・前田(邦)・井手・梶山・馬場・松永・前田(久)

○事業の予算を削除する修正案が可決され、この事業は白紙に。

※文教厚生委員会での審議内容については5ページへ

【国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書】

- ・海の日<sup>①</sup>の意義に立ち戻り、ハッピーマンデーから外して曜日に関係なく7月20日に固定するよう、国会及び関係省庁に望むもの。

○賛成11人

山口(常)・中山・松尾(真)・山口(恭)・井手・梶山・馬場・松永・前田(久)・樋渡・笠原

●反対9人

盛・加藤・川田・西田・力武・前田(敏)・前田(邦)・香月・松尾(雅)

○意見書が可決され、国に対して意見書を送付しました。

## 移住・定住促進事業

補正額：6,543万6,000円

好調な市内半導体企業の事業拡大に伴い多くの雇用が予定されており、これを機に今後さらに移住・定住の促進を図っていきます。

伊万里に関心のある移住希望者に、実際に伊万里に来て日常を体感してもらうことで、伊万里での生活をイメージしてもらい伊万里への移住の意識を高めてもらう移住体験ツアーが開催されます。

移住支援については、移住者が新築住宅又は空き家を購入する場合や空き家をリフォームする場合の「移住促進奨励金」、首都圏在住の勤務者が移住される場合の「移住支援金」、首都圏以外から移住される場合の「いきなり暮らしスタート支援金」が拡充されます。

移住支援、移住体験ツアーについては、それぞれの支援金額、対象者や支給要件がありますので、市ホームページ、市役所担当課でご確認下さい。

### 質疑

「移住促進奨励金」において、移住者が市内の人口減少地域の新築・空き家を購入する場合に地域指定加算として10万円上乘せされる。この地域指定加算の対象となる地域から、人口が増加傾向にある立花町と二里町が除外されているが、2町の中でも人口減少が深刻な地域については地域指定加算の対象にならないのか。

### 回答

事業の制度内容については、5年ごとに実施される国勢調査を基に検討する予定ですが、地域指定加算の対象となる地域については検討を進めていきたいと考えています。

## 人事管理事業

補正額：62万2,000円

道路交通法施行規則の改正に伴い、本年10月から業務で公用車を運転する市職員に対し、アルコール検知器での酒気帯びの有無の確認が必要となり、アルコール検知器113個を購入されます。

### 質疑

公用車の運転日誌に酒気帯びの有無の確認欄を設けるなど、チェック体制はどうするのか。

### 回答

公用車の運転日誌にはすでに確認欄を設けており、乗車前、乗車後に第三者が目視で確認し運転者と確認者の氏名を記入するようにしています。10月からは、アルコール検知器の数値も記入するようにしていきます。

## 消防団運営事業

補正額：395万8,000円

昨年に引き続き一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して、消防団の装備品（雨衣70着）を購入し配備されます。

### 質疑

配備される雨衣は、丈夫で機能性が高いものだが、1着が1万円以上と高額な為、各分団に配備するのに年70着程度では何年もかかる。長年使用する備品ではなく消耗品として安価な雨衣にすれば、すぐにでも全分団に配備できるのではないか。

### 回答

継続して配備を進めていく上で、価格や機能性等を考えながら出来るだけ早く全分団に配備できるよう検討し取り組んでいきたいと考えています。

## 藩窯公園管理事業

補正額：1,103万2,000円

歴史文化遺産の保護顕彰と憩いの場として整備されている大川内山の藩窯公園で落石が発生しており、法面の補修工事を行います。また、展望広場にある老朽化が著しい展望台を撤去されます。



【現地視察】大川内山の展望広場

## 伊万里・鍋島ギャラリーの入館料が無料になります

松浦鉄道伊万里駅ビル2階にありますが、行かれたことはありますか?より多くの市民や観光客に見て頂くよう、常設展を無料とします。「世界の至宝」と呼ばれる焼き物が展示されていますので、是非足をお運びください。委員会では、大川内山への観光客を誘うような仕掛けづくりを全庁挙げて行うよう要請しました。

## 図書館資料を増やすと共に、Wi-Fiが整備されます

補正額：資料費 1,200万円  
Wi-Fi 80万9,000円

3月は市長選前の骨格予算だったため、図書資料費は一部だけの計上でしたが、委員会からの要請もあり今回増額されました。特に障がいなどで読書に困難を抱える方々に豊かな環境を提供するための資料が入ります。

利用者から要望の多かったWi-Fiも会議室などに整備されます。

## 学校や保育園の給食費を支援します

補正額：私立保育園 1,328万4,000円  
公立保育園(賄材料費) 118万3,000円  
小中学校 1,531万円

原油価格や物価高騰の影響により値上がりする食材費の増額分を支援します。

本来なら給食費を値上げしなければならない状況でした。国からの交付金で可能となりましたので、学校は材料費相当分を学校給食運営委員会へ、私立の保育園等にも補助します。(公立保育園には市から、幼稚園・認可外保育施設等へは県から補助されます)

## 学校給食センターの状況を視察しました

給食の提供を行いながら、夏休みを活用し3年間かけて改修の計画が進められているため、改めて状況の説明を受けました。ちょうど食器や食缶類が戻ってきた時間帯で、お湯を使っでの作業に汗だくで取り組まれる皆さんのご苦勞を見て、一日も早い改修が必要だと痛感しました。アレルギーの児童生徒への対応も、新施設では可能となるよう進められます。



【現地視察】学校給食センター



## 「地域で活躍する元気な高齢者を表彰する事業」



要支援認定を受けてデイサービスに行っている方の中にも、元気にボランティア活動など素晴らしい活躍をされている方がおられますが、要綱では対象外となってしまいます。また年間5人の選出方法や基準にも懸念材料が多いため、本事業の予算(11万3,000円)を削除する修正案を提出しました。(結果については3ページをご参照ください)

## 来年3月からますます便利に マイナンバーカード

### 戸籍住民基本台帳事業

補正額：1,294万6,000円

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、密集を避け来庁者の抑制を図る必要もあることから、マイナンバーカードを活用し、市役所以外のコンビニエンスストア等で住民票や印鑑証明書、各種税証明書等を交付できるようにするためにシステムの改修が行われます。

また、マイナンバーカードの取得、利用促進のため、様々なサービスや利便性について更なる周知を行い、普及促進を図るよう意見を付けました。



住民票等が取れるコンビニのコピー機

## 空き家の安全確保

### 空家等管理促進事業

補正額：100万円

地域には、空き家が増えています。その中でも、周囲に悪影響を及ぼす可能性の高い危険な空き家（特定空家）を解体するための補助制度です。非課税世帯を対象に、解体工事費の4/5（最大50万円）が補助されます。

危険な空き家の所有者や地域の安全確保のために、事業の更なる周知を図るよう意見を付けました。



【現地視察】工業用水の浄水処理施設

## 地域活動の環境を整備できます

### 市民活動促進事業

補正額：1,980万円

一般社団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業（宝くじの益金）を活用して、コミュニティ活動に必要な施設の整備に要する経費が補助されます。

今回7地区から申請があり、3件の補助が決まりました。

自治公民館の備品整備や建て替えなど、地域の環境整備が対象となっており、補助金で賄われます。

## コミセンに集って！ 高齢者はつつ事業

### 地域づくり推進事業

補正額：975万円

地域課題の解決や身近なまちづくりの実践を行うまちづくり協議会等に対し、今年度も55万円が交付されます。これに加え高齢者が交流やレクリエーションを通してコミュニティセンターを集いの場とするための高齢者はつつ事業（備品購入のため）として、追加で20万円が交付されます。

# 特別委員会の紹介

お知らせ

常任委員会

特別委員会

特集

一般質問

## 地域・生活支援調査特別委員会

地域交通のあり方や移動、買い物等の生活支援対策について調査・研究を行う。

委員長	松 永 孝 三
副委員長	井 手 勲
委員	川 田 耕 一
	山 口 常 人
	馬 場 繁
	松 尾 雅 宏
	笠 原 義 久



## DX推進調査特別委員会

DX推進の現状を把握し、市民サービスの充実に向けた活用の可能性について調査・研究を行う。

委員長	前 田 邦 幸
副委員長	香 月 孝 夫
委員	中 山 光 義
	前 田 敏 彦
	松 尾 真 介
	前 田 久 年



# 新 議 員 紹 介

4月17日に投開票された伊万里市議会議員の補欠選挙において、新たに2名の方が当選されました。

任期は令和5年4月までの約1年間です。ここで当選された方を紹介いたします。  
今回の補欠選挙の結果、議員数は定数の21名となりました。



松 尾 真 介

3期目 牧 島

会派：いまり新風会

皆さまの熱いご支援・ご支持の賜物と、心より感謝御礼申し上げます。以後、本市発展のため精進してまいります。



香 月 孝 夫

3期目 伊万里

会派：伊想会

「声をカタチに、声を未来へ」をモットーに、皆さまのよき代弁者となり身命を賭してやりぬきたいと思っております。宜しくお願いします。

## 議員年金制度は平成23年に廃止されています

伊万里市議会議員は来年4月で任期4年の改選となります。

改選となればよく言われることが「議員は3期12年務めれば議員年金を頂けるのでしょ、いいですね」との話です。

以前は議員通算12年以上の方は議員年金を受給することができましたが、**平成23年6月1日、地方議会議員の年金制度廃止に伴い現在年金支給はありません。**

これは平成11年時点で3,232あった市町村数が、市町村合併により平成22年3月末で1,727と半数近くに激減し、地方議員数も大幅に減ったことから、制度の維持が困難になり、国会で制度廃止が決定されたためです。



# 一般質問 (質問順)

議員名	質問事項
井手 勲	<p><b>1. 学校給食について</b></p> <p>(1)給食センターの現状 (2)給食センターの改修工事 (3)アレルギー対策</p> <p><b>2. 福祉施策について</b></p> <p>(1)「障がい」表記の変更 (2)障がい者用駐車スペース (3)共生のための交流福祉センター</p> <p><b>3. 上水道事業について</b></p> <p>(1)老朽配管の更新 (2)給水世帯急増地区の対応</p> <p><b>4. マイナンバーカードについて</b></p>
盛 泰子	<p><b>1. スクールロイヤール(学校弁護士)について</b></p> <p><b>2. 原子力災害時における関係市町との連携について</b></p> <p><b>3. 医療的ケア児について</b></p> <p>(1)新年度の状況 (2)より良い支援へ向けて</p>
香月 孝夫	<p><b>1. 人にやさしい安全安心な道路について</b></p> <p>(1)子どもや障がい者、高齢者へ配慮した現状の取り組み (2)見守り(防犯)カメラの必要性 (3)歩道整備の方針</p> <p><b>2. ウィズコロナを見据えた伊万里市の観光について</b></p> <p>(1)コロナ前から現在に至る観光客の推移 (2)観光PRの方法 (3)新たな観光資源の開発</p>
山口 常人	<p><b>1. 小・中学校でのコロナ対策について</b></p> <p>(1)感染症予防の指導状況について (2)体育授業、部活動時のマスク着用について</p> <p><b>2. 工業用水道の確保について</b></p> <p>(1)工業用水道の現況について (2)有田川水系での取水について (3)SUMCO久原工場の増設への対応 (4)浦ノ崎地区廃棄物処理用地への用水確保について</p> <p><b>3. 2期目の市長公約について</b></p> <p>(1)子育て応援都市について (2)港湾都市について (3)デジタル都市について (4)SDGs推進都市について</p>

議員名	質問事項
西田晃一郎	<p><b>1. 新型コロナウイルスワクチン接種について</b></p> <p>(1)接種の現状 (2)相談窓口 (3)今後の取り組み</p> <p><b>2. 伊万里市障がい者生活支援センターについて</b></p> <p>(1)相談支援の現状 (2)合理的配慮 (3)プライバシーの保護 (4)今後の対応</p>
中山 光義	<p><b>1. 2期目の選挙公約について</b></p> <p>(1)産業都市伊万里の考え方</p> <p><b>2. 農業政策について</b></p> <p>(1)人・農地プランの進捗状況 (2)耕地面積と耕作放棄地面積 (3)水稻営農支援について</p> <p><b>3. 消防団について</b></p> <p>(1)防災に対する考え方と訓練等のあり方について (2)雨衣の支給について</p>
前田 邦幸	<p><b>1. 4月の選挙について</b></p> <p>(1)投票率等の評価について (2)選挙公報、投票所の氏名掲示の順番について (3)投票時間の繰り上げについて</p> <p><b>2. 市有地について</b></p> <p>(1)市有地の売却について (2)市営住宅跡地について (3)今後の計画について</p>
加藤奈津実	<p><b>1. 防災教育について</b></p> <p>(1)地域における防災教育 (2)学校における防災教育 (3)外国人居住者への防災教育 (4)伊万里市における防災教育の方針</p>



お知らせ  
常任委員会  
特別委員会  
特集  
一般質問

## 学校給食・アレルギー対応食について



井手 勲

**質問** 今回の改修でアレルギー対応食に取り組みとしているが、どのようなものになるのか。

**答弁** ①教育部長 ②市長

①現在の設備では対応が難しいが、今回の改修で特別調理室を設置し、保護者の声を聞きながら進めていく。

②保護者の負担を少しでも軽くする為、十分な準備をし、なるべく早く安全で安定したアレルギー対応食を提供したい。

## 「障がい」表記の変更について

**質問** 今回「障害」表記が「障がい」表記に変更をされた経緯について。

**答弁** 市長

この件については令和3年度伊万里地域福祉計画策定委員会において協議がなされ、さまざまなお意見の中、ひらがな表記の方が柔らかい印象になり障がいのある

人からも理解を得やすく、また行政においても、少しでも理解や配慮を示したいという姿勢は大事であるとの意見をふまえ、ひらがな表記へ改めるように決定した。

## 上水道老朽配管更新

**質問** 上水道等は重要なインフラだが老朽化が全国的にも大きな問題となっている。水道ビジョンに基づいた更新状況について。

**答弁** 上下水道部長

更新目標年数を60年と定め、当面は「早急に更新が必要な管路のうち、基幹管路を中心に更新することとし、令和元年度から9年間で27kmの更新を予定している。

## マイナンバーカード・今後の利用でできる手続き内容について

**質問** 今後どのような手続きで利用できるのか。

**答弁** 総合政策部長

国においては、全ての医療機関で保険証、運転免許証との一体的利用が検討されている。

市においては、住民票、印鑑登録証明書、各種税証明書がコンビニで交付できるようになる。これからの全国的な先例を参考にしながら利用範囲の拡大に努める。

## 「学校弁護士」の必要性



盛 泰子

**質問** ①いじめなど学校での対応に苦慮する事例が生じた際、どのように対応しているか。②全国的に対応困難事例が増加する中、文部科学省は令和2年度から「学校弁護士（スクールロイヤー）」を都道府県に導入するための措置を講じている。県での設置を求めるべき。

**答弁** 教育長

①市の顧問弁護士に相談している。②法務の専門家への相談が必要な機会が増加する中で、初期対応の段階から予防的に弁護士等に関わってもらうことで、速やかな問題解決につながり、教員の負担軽減が図られる。全市町で予想されることでもあり、県教委の一括した制度設置などを含め検討する。

## 医療的ケア児への対応

**質問** ①保育園、②学校、③避難訓練での状況は。④近隣で介護者のレスパイトケアを。

**答弁** ①、④健康福祉部長、②、③教育部長

①本年1月から2園で2名を受け入れており、看護師や保育士の確保と受入れノウハウの蓄積が課題。②小学校1校で受け入れ、委託先の事業所にはできる限りの対応をして頂いているが看護師の派遣が週1日に留まっており、ボランティアの看護師の支援と保護者による対応となっている。委託する事業所を増やすなど、看護師確保の体制づくりが急務。③学校のマニュアルにも記載し実施しているが、今後は消防との連携も検討し実施したい。④県西部にレスパイトケアができる施設はない。県など関係機関と前向きに協議していきたい。



子どもの治療に付添う家族のための施設への募金箱（★2マクドナルド）。写真は伊万里の親子です。

★1 レスパイトケア：子どもや大人を介護する人に提供される一時的なケア。「小休止」を意味し、「ケアする人のケア」ともいわれる。  
★2 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティ・ジャパン

## 人にやさしい安全安心な道路について



香月 孝夫

**質問** 通学路の区画線等への取り組み状況は。

**答弁** 建設農林水産部長

道路、パトロールの実施、また緊急性を必要とする要望等、補修を行い安全確保に引き続き努める。

**質問** 障がい者や高齢者に配慮した道路への取り組み状況は。

**答弁** 建設農林水産部長

新規歩道は、道路構造令に基づきバリアフリーやユニバーサルデザインに沿って施工推進を図っている。

**質問** 路上等防犯カメラの設置状況は。

**答弁** 総務部長

市が把握している防犯カメラは、17施設に64台設置。

**質問** 各地域の見守り防犯カメラ新設に関しては。

**答弁** 総務部長

設置希望については、防犯協会等と相談しながら補助金制度も有

効に活用し安全安心に繋げて頂きたい。

※設置費用については防犯協会補助制度（1台につき1/2、上限5万円）

**質問** 本町バイパス歩道のフラット化を検討しては。

**答弁** 市長

現段階では費用対効果等において「地域の声を聞く事も大切」であり、担当部署へその指示をした。

### ウィズコロナを見据えた伊万里市の観光について

**質問** 県内直近の観光客推移は。

**答弁** 総合政策部長

県内市内共にコロナ感染症の影響等により観光客数は減少し、甚大な影響を受けている。

**質問** 旅行トレンドの変化への対応は。

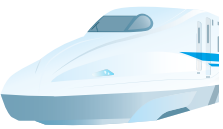
**答弁** 総合政策部長

観光振興再始動の年と位置付け、交流人口の回復や関係人口の創出に繋げるため、大幅な予算措置や機構改革を図り、

包括的かつ総合的な

伊万里トータルプロ

モーションを全国の主要都市に向けて発信する。



## 小・中学校でのコロナ感染症の対策について



山口 常人

**質問** 感染症予防の指導状況は。

**答弁** 教育長

減少傾向であり、今後も学校においては基本的な三密の回避、マスク着用、手指消毒、定期的な換気等の4項目の指導を継続、加えて給食時の黙食を続けます。

**質問** 文科省の指導にて、体育の授業や部活動時のマスク着用は。

**答弁** 教育長

運動時のマスク着用は、十分な呼吸が出来ず熱中症、脱水症のリスクが高くなり生命に関わる重大な問題であるため、各学校ガイドラインに沿って工夫を検討し、必要な対応をとっていきます。

### 工業用水道の確保について

**質問** 市の水道資源の現況は。有

田川水系に頼れる部分が大いと思うが、今後の取水はどうか。

**答弁** 上下水道部長

近年、雨量の増減に変化がありましたが、幸いに年間合計雨量は適度に降りましたので、ダム貯水を利用しながら有田川からの取水が出来ている状況です。

### 2期目の市長公約について

**質問** 市長は、1期目の積み残しを踏まえ公約で4項のビジョンを示された。市民の皆様と約束された事について伺う。

**答弁** 市長

- ①子育て応援都市については、伊万里市子どもの貧困対策計画を策定。給食センターの大改修を年次のに、子ども、大人が楽しく遊べる公園の整備、西九州大学と子育て教育等の分野で、連携、東山代小学校とコミュニティセンターとの複合化、建設を進めていきます。
- ②港湾都市については、伊万里港の長期構想の策定に取り組みます。
- ③デジタル都市については、企業委託型の地域おこし協力隊制度を活用し、IT企業等の事務系企業の誘致や起業につなげます。
- ④SDGs推進都市については、若者が希望をもって暮らせる活力創造拠点となる「持続可能な都市伊万里」を目指して参ります。

## 新型コロナウイルス ワクチン接種について



西田晃一郎

**質問** 接種率は。

**答弁** 健康福祉部長

接種率は、1回目が84・6%、2回目が83・9%、3回目が70・2%。この中で、40歳未満の接種率は50%を下回り、全国的な傾向と同様に年代が下がるほど低くなる傾向となっている。

**質問** 副反応に関する相談窓口は。

**答弁** 健康福祉部長

県には、副反応やワクチンに関すること等を相談できる専門的な窓口が設置されているが、伊万里市でも相談は受付けている。

**質問** 予防接種健康被害救済制度について。

**答弁** 健康福祉部長

本制度の相談窓口は伊万里市にあり、これまで7件の相談があった。この内3件を国に申請した。

**質問** 今後の感染拡大防止の取り組みは。

**答弁** 市長

引き続き、接種体制づくりを行い、円滑に接種が進むように取り組む。併せて、三密をしない、換気や手洗いなど基本的な感染対策の実施を周知していきたい。

## 障がい者生活 支援センターについて

**質問** 相談支援体制について。

**答弁** 健康福祉部長

職員数は、正職員7人と会計年度任用職員1人。保有資格は、社会福祉士、保健師、相談支援専門員。

**質問** バリアフリーについて。

**答弁** 健康福祉部長

別館入口を自動扉に改修している。また、車いす使用者のためにスロープを設置し、経路上の幅員に一定の余裕を持たせている。

**質問** プライバシーの保護は。

**答弁** 健康福祉部長

専用の相談スペースを設けることは難しい。同じ別館内の相談室を使用することとしている。

**質問** 今後の環境整備は。

**答弁** 健康福祉部長

障がいのある方の視点で利用しやすい環境の整備に努める。

## 水稲営農支援を 継続的に



中山 光義

**質問** 水稲経営燃料等高騰対策支援事業は、燃料等の高騰に対する水稲農家を支援する事業である。コロナ禍の一過性の事業としない

で、米価下落を起因とする、水稲農家を支援するため継続事業として今後も取り組めないか。

**答弁** 市長

今回の事業は、水稲農家への「緊急支援」ということで新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施している。ふるさと納税の返礼品としても伊万里産米を提供できており、作り手不足となればふるさと納税にも支障をきたす。

今後の米価や肥料、農薬、燃料費等の生産にかかる費用の動き、それに対する国や県の支援の動向等を注視するとともに、関係機関とも協議しながら対応について検討していきたい。

## 消防団の 雨衣支給について

**質問** 今回「一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業」を活用して購入する雨衣の数と充足は。また、未支給団員に支給が完了する計画年数は。

**答弁** 理事

昨年度同事業を活用し71着購入した。今年度も70着程度購入を計画している。全体で400着程度の配備を計画しており、現在の年間70着程度の配備を継続すれば4年後の令和8年度に完了する。

**質問** 近年の大雨災害を考えたとき、未支給者には一般財源を用いて早急に対応する必要があると考えるが。

**答弁** 市長

地域防災の要となる消防団員の皆様には地域に密着した消防団活動に従事して頂いていることに對し、深く感謝を申し上げたい。

消防団への装備については、必要なものは備えるべきだと認識をしているし、過去にも対応を図ってきた。今後も消防団幹部の意見を聞きながら、優先順位的に必要なものは対応を図っていききたいと考えている。

## 4月の選挙について



前田 邦幸

**質問** 今回の4月に行なわれた市長選挙では、伊万里市で初めて多くの候補者が出られたのに過去最低の投票率となった原因は。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長

今回の市長選挙は候補者も4人と多かった事から、選挙管理委員会も期待をしていた。しかし投票率は下がっている。コロナウイルス感染症が拡大傾向であった事から、有権者の関心が思ったより高まらなかったのではないかと分析している。

**質問** 告示の立候補届出の順番は本人がくじを引き順番を決めるが、選挙公報と投票所の氏名掲示の順番はどのようにして決めているのか。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長

立候補の届出を締め切った後、選挙管理委員会において公正にくじで掲載順を決めている。

**質問** 期日前投票も伸びてきたの

で、選挙当日の投票時間を武雄市のように午後6時までにする事で結果が早い時間に分かるし、経費節減につながるのでは。

**答弁** 選挙管理委員会事務局長

期日前投票の投票率は伸びている。公職選挙法では特別な理由がある時は4時間の範囲で変える事が出来るとあるが、午後6時から午後8時に投票者の9・2%の方が来ておられる。効率性だけではなく、慎重に考えていきたい。

## 市有地について

**質問** 売却地の価格を値下げする際の基準は。

**答弁** 総合政策部長

財政課内の基準で、一般入札等の取扱い要領で定めている。入札を行った結果、落札者がなく、その後2回目以降は入札毎に1割下げ、7割を限度と定めている。

**質問** 市有地の売却地が広い場合は複数の人で買えるのか、また転売制限はあるのか。

**答弁** 総合政策部長

基本的には複数の人で買える。希望され、分筆して売った経緯もある。それに転売制限はない。不動産会社が購入された後、分譲された経緯もある。

## 地域・学校・外国人への防災教育のこれから



加藤奈津実

**質問** 本市における地区防災委員の女性の数及び割合は。

**答弁** 総務部長

811名中62名で、7・6%。

**質問** 先日開催された防災講演会において、講師の先生及び担当課から防災に女性の視点が必要と強く仰った。区長会長会等でより強い啓発が必要と考えるが。

**答弁** 総務部長

避難所でのプライバシーの確保や女性・子どもへの対応など、防災対策のあらゆる場面で女性の視点は不可欠。今後も機会をとらえて地区防災会への女性参画の重要性を周知していく。

**質問** 平成29年に改訂された新学習指導要領において、防災教育の記述に関して変化したポイントは。

**答弁** 教育長

過去に発生した地域の自然災害や地域で起こり得る災害を想定した学習など、地域の、また自分事

としての学びが必要とされている。

**質問** 避難訓練は災害が起きた後に生きていることが前提。それ以前に生きのびれるかどうか重要。自分の住む地域を知り、実情に合った命を守る教育や、地域と連携した防災教育が必要と考えるが。

**答弁** 教育長

実情に合った、地域に応じた学習が非常に重要と考えている。地域人材の活用も是非やっていきたいので学校にも紹介していく。

**質問** 本市は県内でも4番目に在留外国人の数が多いため、防災に関するサポートの状況は。

**答弁** 市民生活部長

市のHPを12の言語に翻訳。まちづくり課と黒川コミセンに多言語に対応した相談窓口を開設するなど、情報提供や案内に努めている。

**質問** 外国人居住者は英語が分からない方も多く聞くと聞く。英語よりもやさしい日本語が親切。また、避難所の地図や、実際に行つてみる経験が必要。外国人が多い企業への出前講座を行うなど積極的なアプローチが必要と考えるが。

**答弁** 市民生活部長

外国人の方の困りごとを受け、9月に防災講座を予定。出前講座の表現や手法も工夫しながら企業への啓発活動にも努めていく。

## 「市議会って何してるの？」に答えます。

伊万里市議会では、年に4回（原則として3月、6月、9月、12月）の定例会が開かれており、また、必要に応じて臨時会が開かれます。

市議会議員全員が出席し、議場において開かれる会議を「本会議」といいます。一般質問も本会議で行います。

本会議において提案された事項の内容を、いくつかのグループに分かれて、細かく詳しく審議する場を「委員会」といいます。



### 本会議



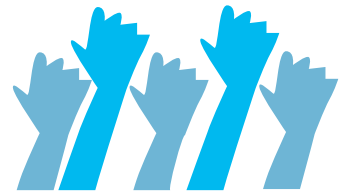
主に市長が、市で行いたい事業などを議会に提案して説明し、議員が質疑します。

### 委員会



提案された内容について、更に詳しい説明を受け、細かい点まで議論します。

### 本会議



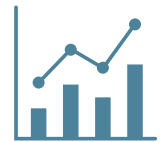
委員会の話し合いの結果を議会全体で共有し、賛成か反対かを議員の多数決で決定します。

常に設置されている委員会を「常任委員会」といい、伊万里市議会では3つの常任委員会が設置されています。必要に応じて設置される委員会は「特別委員会」といいます。また、議会の運営に関して協議する「議会運営委員会」があります。

## 3つの常任委員会：各7名

### ■ 総務委員会

財政、人事管理、庁舎管理、総合計画、企画、消防団、防災、企業誘致、移住・定住、港湾、選挙に関する事など



### ■ 文教厚生委員会

児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、健康づくり、介護保険、保育園、幼稚園、小中学校、給食センター、図書館、スポーツに関する事など



### ■ 環境建設委員会

農業、畜産、園芸、林業、水産業、公園、土木、河川、上下水道、ごみ処理、交通、観光、国際交流、まちづくりに関する事など



例えば、「新しい公園」が  
ほしい！と思ったら・・・



### 市長

市民の思いをもとに、どんな公園にするか、どこにつくるか、予算はどうするか、計画を立てて、議会に提案する。



市議会で決まったことを受けて、新しい公園をつくるために必要な仕事を進める。

### 市議会

市民の思いをよく聞き、他のまちの良い公園について調査・研究するなどして、市長に提言する。



市長から出された計画について細かく議論し、新しい公園をつくることを決める。



市民の思いを取り入れた  
「新しい公園」が完成！



## 編集後記

今年4月17日、市長選挙が行われ、深浦市長の2期目の市政運営がスタートしました。1期目の取り組みを継承しつつ、人口減少対策・コロナ対策をはじめ、様々な課題の解決に向け取り組み、伊万里市を輝く未来へと導く道を切り開いていくと2期目にあたっての決意を述べられました。

また、市長選挙と共に2名の欠員があった市議会議員の補欠選挙が行われ、元職の2名の方が当選され議員定数の21名がそろいました。市議会としても市長と共に、伊万里市のより良い未来に向け頑張っていきたいと考えています。

広報広聴委員会では、議会だよりをはじめ、議会広報のあり方などについて議論を重ね、様々な意見を出し合いながら工夫を凝らし、より多くの市民の方に読んでいただけるような紙面づくりや広報活動に向け、取り組みを進めています。また、市民の皆さんとの意見交換などを通し、多くの方の声が議会に届けられるよう、引き続き身近な市議会を目指して参ります。  
(前田敏彦)

### 広報広聴委員会

(委員長) 加藤 奈津実  
(副委員長) 西田 晃一郎  
盛 泰子 川田 耕一  
山口 常人 中山 光義  
前田 敏彦

(発行・ご意見)

伊万里市議会  
伊万里市立花町1 3 5 5-1  
TEL 09 5 5-23 -2594  
FAX 09 5 5-22 -1277  
E-mail: gikai@city.imari.lg.jp

(編集) 広報広聴委員会

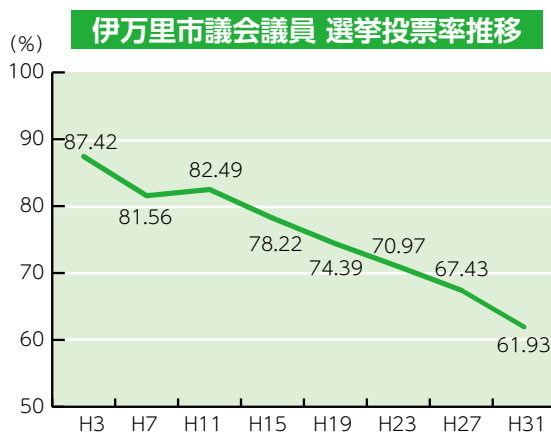
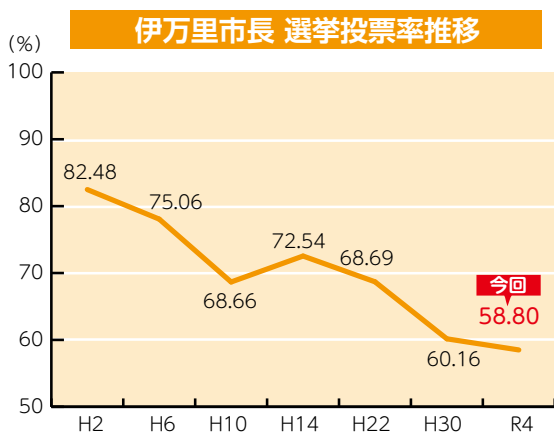
(印刷) 株式会社エワン

# あなたは選挙に行きましたか？

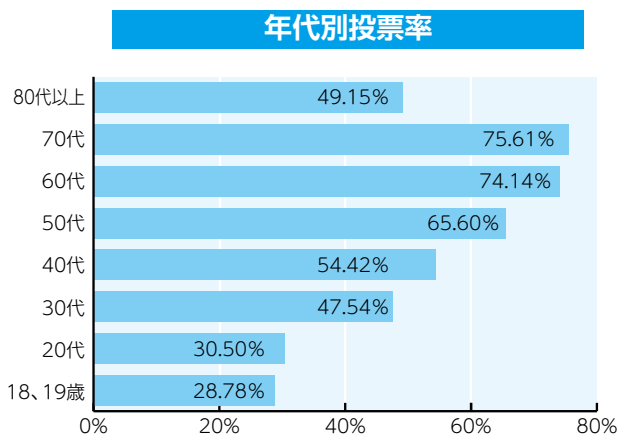


こうして今、議会だよりをご覧になっているあなたは、きっと投票に行かれたことと思います。しかしながら、令和4年4月17日に行われた伊万里市長選挙及び伊万里市議会議員補欠選挙の投票率は**58.80%**と**過去最低**でした。

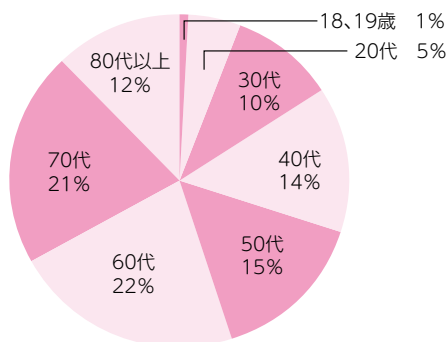
平成以降に行われた伊万里市の選挙の投票率を振り返ってみましょう。



ご覧の通り、投票率は下がる傾向にあります。平成27年6月の法改正により、投票できる年齢が18歳から引き下げられましたが、今回の選挙の年代別投票率はこのようになっています。



### 年代別投票割合



年代によって人数は大きく異なりますので、これを令和4年4月1日時点の人口に当てはめると、選挙に行った人の割合はこの円グラフのようになります。

いかがでしょうか？あなたの年代の声は市政にどのくらい届いているでしょうか。政治はみなさんの生活と密接に関わっています。みなさんの声を届ける代表者を選ぶのが選挙です。



あなたの行動で、声かけで、下がり続ける投票率に「待った！」をかけてください。

これから予定  
されている選挙

令和4年 12月 佐賀県知事選挙

令和5年 4月 佐賀県議会議員選挙  
4月 伊万里市議会議員選挙